

■ **ゼロカーボン北海道の実現**

2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指し、ゼロカーボン北海道推進条例を推進し、環境と経済の好循環に取り組みます。

(政策展開の方向性)
 ゼロカーボン北海道の推進に向けた基金を設置し、中長期的な視点で地域づくりや人材の育成などに取り組みます。また、アプリを活用した排出量の見える化やものづくり産業など中小・小規模事業者の脱炭素化、次世代自動車の普及、建物の再生可能エネルギー導入や省エネ化の促進に取り組みます。森林の循環利用、農地やブルーカーボンの利用を促進するなどJクレジット制度も活用した農林水産分野の吸収源対策に取り組みます。

区分	主な取組	備考 (施策Code)
総合交通ネットワークの形成	○道管理空港における航空灯火LED化について、3空港の整備事業に着手【R4:1空港(実施設計)、R5:3空港(本工事、実施設計)】	0218
省エネルギーの促進と新エネルギーの最大限の活用	○市町村等による取組への支援を通じて、新エネルギーの導入拡大を促進 エネルギー地産地消の先駆的モデルとなる取組への複数年支援【H29~R3:3件、H30~R3:1件】 自立分散型エネルギーシステム導入や地域マイクログリッドなどの構築を支援【R4:3件】 新エネの設備導入支援【R2:6件、R3:4件、R4:1件】 地熱井掘削の取組を支援【R2:1件、R3:1件、R4:1件】 コーディネーター派遣による事業掘り起こしから実施までを支援【(市町村数)R2:14、R3:31、R4:35】 地熱・温泉熱の利活用に関するアドバイザーを派遣【R2:1件、R3:4件、R4:7件】 ○環境関連産業の技術開発や事業化、販路拡大等の支援 マーケティング調査、製品開発補助や販路拡大支援を実施【補助:2件、ENEX参加企業:19社】 ○洋上風力発電の導入促進などに向け、地域への理解促進、関係機関による意見交換とともに、国への要望を実施 住民説明会等(R4.12~R5.2:7回)やセミナー(R5.2)の開催、北海道洋上風力推進連携会議(R5.6)の開催、洋上風力発電の導入加速化と関連産業の集積促進等について国へ要望(R5.6) ○道内企業の水素関連産業への参入促進を図る取組 相談対応・企業間連携・マッチング支援【R2:個別相談(試行)延べ2件、R3:1,109件のアンケート調査と総合相談窓口の設置。個別相談延べ14件、地域勉強会(道北及び道東地域)各3回実施、逆見本市1回】 動機づけから事業化への可能性検討など、段階に応じたサポート【R4:道内企業22社】 取組意欲の向上やステップアップを目指すための地域勉強会【R4:6回】 展示イベント出展【R4:1回】	0502
災害にも活用できるエネルギー事業環境整備	○再エネ導入拡大のための電力基盤増強、海底直流送電の着実な整備など、国への要望を実施(R5.5)	0503
中小・小規模企業の振興	○中小企業総合振興資金を活用し、中小企業者に対する資金供給の円滑化を実施【R5.5末時点実績:1,281件、20,090百万円】	0509

(続き)

区分	主な取組	備考 (施策Code)
環境・エネルギー産業の振興	<p>○地域へのコーディネーター派遣により、新エネ導入事業の掘り起こしから実施までを支援【R2:14市町村、R3:31市町村、R4:35市町村】</p> <p>○洋上風力発電の導入促進などに向け、地域への理解促進、関係機関による意見交換、国への要望を実施 住民説明会等(R4.12~R5.2:7回)やセミナー(R5.2)の開催 北海道洋上風力推進連携会議(R5.6)の開催 洋上風力発電の導入加速化と関連産業の集積促進等について、国へ要望(R5.6)</p> <p>○道内ものづくり産業の生産性向上等のため、脱炭素やDXを推進するセミナー等を実施するとともに、次世代自動車等の環境配慮型産業の販路拡大、人材育成の取組を推進(ものづくり産業におけるグリーンデジタル推進事業)</p>	0512
ゼロカーボン北海道の推進と環境に配慮する人づくり	<p>○ライフスタイル・ビジネススタイルの転換につながる取組を広く呼びかけ、できることからゼロカーボンの取組を実践していく「ゼロカーボン北海道チャレンジ!」を実施</p> <p>○家庭からの排出量を見える化するスマートフォンアプリ「北海道ゼロチャレ!家計簿」を開発</p> <p>○北海道地球温暖化防止活動推進員による普及啓発活動により、道内各地域において地球温暖化対策の重要性への理解を促進【R4:33回、R3:30回、R2:21回、R1:30回】</p> <p>○気候変動適応に関する情報についてメルマガを道民、事業者等に配信【R4:11回配信、登録者数374件】</p> <p>○道内における気候変動の影響などを広く収集するため、道民・事業者などを対象とした適応に関するアンケート調査を実施・公表【R4:道民4,398名、事業者・団体527社】</p> <p>◇ゼロカーボン北海道の実現に向けて、再生可能エネルギーの導入の加速化や省エネルギーの推進等の施策を中長期的に展開するため、新たに北海道地球温暖化防止対策基金(通称:ゼロカーボン北海道推進基金)を設置(R5.7)</p>	0523
農業における脱炭素化の推進	<p>○関係機関と連携し、温室効果ガス削減に向けた取組により、みどりの食料システム法に係る北海道基本計画に基づく農業者の環境負荷低減事業活動実施計画を認定(3件)し、環境負荷低減に向けたモデル的先進地区の創出(10件)を支援</p> <p>○「北海道カーボンファーム推進協議体」への登録を広く募集【登録者数 57件】</p> <p>○R4に地域セミナー(十勝、オホーツク)及び全道検討会を開催【未利用飼料原料を分析した結果、海藻2品目がGHG削減に向け有望との結果】</p>	0602
豊かな森づくりの推進	<p>○市町村、森林組合等による森林整備や路網整備に対する支援や道有林野における計画的な森林整備を実施</p> <p>○市町村の体制強化や、市町村が行う森林整備への支援などを通じて、二酸化炭素吸収量の維持・増加に向けて育成複層林面積を確保【育成複層林面積H30:758千ha→R3:772千ha】</p>	0701
森林吸収源対策の推進	<p>○治山事業により荒廃山地の復旧や山地災害の未然防止、水源の涵養など、保安林機能の維持・増進を図るとともに、津波に強い海岸防災林を整備</p>	0703
森林資源の循環利用の推進による林業及び木材産業等の振興	<p>○二酸化炭素吸収能力や成長に優れた優良種苗であるクリーンラーチの苗木の早期増産を図るため、採取園への施肥等を行い、結実を促進</p>	0709
栽培漁業の推進や経営の安定化等による水産業の振興	<p>○ブルーカーボンの取組を推進するため吸収量の算定等によりカーボンクレジット取得の効率的手法の実証や普及啓発を実施</p>	0706
住宅の脱炭素化の促進	<p>○住宅建設に携わる技術者の専門知識の習得や技術力の向上に向け、北方型住宅技術講習会などを開催するとともに、道が登録する優良な住宅事業者(きた住まいるメンバー)の登録数の増加を図ることなどによって、良質な住宅ストックの形成に貢献【講習会等の開催(R4):5回、きた住まいるメンバーの登録数:R3末312→R5.7末現在328】</p> <p>○民間住宅施策推進会議を開催して有識者や住宅事業者等と意見交換を行い、再生可能エネルギーや道産木材の活用といった脱炭素化に資する対策を取り入れた「北方型住宅ZERO」の制度化などを実施し、住宅分野の脱炭素化に向けた取組を推進【会議の開催(R4):7回】</p>	0804

※主な取組については、令和5年度基本評価・事務事業評価調書(「○~」)、道ホームページ(「◇~」)より引用・作成